●● 校訓（より正しく・より豊かに・よりたくましく）●●

令和7年度　帯広市立帯広小学校　学校便り

帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったなぁ

～ 学校教育目標 ～

- ○　よく考え、意欲的に学ぶ子
- ○　命を大切にし、たくましくやりぬく子
- ○　豊かな心を持ち、協力し合う子
- ○　勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO.15　令和７年７月23日　発行

校長　黒島　俊一

「は」・「あ」・「と」の夏休み

１学期72日間が本日23日（水）で区切りとなります。とても一生懸命取り組んだ１学期、子供たちの頑張りに心から拍手を贈ります。入学式・始業式から始まり、運動会をはじめとする行事や日々の授業、生活を通して子供たちはたくさんのことを学びました。

先生方に帯広小学校の子供たちの令和７年度の１学期の様子を振り返って聞いたところ、特に３つのことを「頑張っている」という話が聞けました。ご家庭ではいかがでしょうか。

１つ目は、中休みや昼休みに、楽しそうに「運動している子どもたちが多くなったこと」です。外で中で、先生と遊んでいる姿や、自分たちで工夫して元気に楽しく遊んでいる姿がたくさん見られました。夏休みも暑い中ですが、うんと体を動かして汗をかいて、体を鍛えてほしいと思います。

２つ目は、「笑顔であいさつできる子が増えてきたこと」です。「おはようございます、こんにちは、ありがとう」などのあいさつが、相手の目を見て笑顔で言える子が増えてきました。毎朝、登校時に学校近くの交差点で見守りをしていると、目を見てあいさつして、私の存在を意識してくれている子が徐々に増えてきているのがわかります。気持ちが沈んで、時にはあいさつする気持ちにならないこともあるでしょう。でも、私たちは人とのかかわりで生きています。あいさつには人と人との心をつなぐ「魔法の力」があります。これからも学校でも、家庭でも、みんなであいさつの輪を広げていってほしいと思います。

３つ目は、「友だちとなかよく、勉強や学校生活を送れた子が多かったこと」です。みんなが、仲良く助け合って、学びあったり、活動したりして過ごしている姿をよく見かけました。自分の気持ちを友だちに分かるように伝えることも大切ですが、さらに友だちの気持ちになって、気持ちを想像して、一緒に考えて行動できる人になってほしいと思います。

さて、明日からは待ちに待った34日間の夏休みです。いろいろと楽しみな計画もあるものと思いますが、人と人とのかかわりで、夏休みが気持ちよく過ごせるよう、この夏は、次の「は」「あ」「と」に気をつけて過ごしてみませんか。

「は」・・・㋩たらきましょう。家のお手伝い、自分ができるお手伝いを進んでしてみましょう。
家族の役に立つと気持ちよくなります。
「あ」・・・㋐そびましょう。夏休みは思いっきり、たっぷり遊びましょう。
地域で行われる行事のほか、ラジオ体操などにも参加し、いろいろな人とふれ合いましょう。
「と」・・・㋑ことん調べましょう。自分の調べたいことを一生懸命調べてみましょう。
楽しい自由研究や大きな作品づくり、たくさんの読書もしたいですね。

８月２７日（水）の２学期始業式には、全員が元気に揃うことを願っています、夏休みは、事故や病気、けが、そして事件に巻き込まれないよう、十分気をつけてお過ごし下さい。改めまして、保護者及び地域の皆さま、１学期の本校の教育活動に対するご理解、ご協力、ありがとうございました。２学期もどうぞよろしくお願いします。（以上、終業式校長講話から）

帯広小の教育の一コマから

写真左　低学年の植木鉢の観察から。夏休み中の家でのお世話をお願いします。
写真中　１年生のキーマカレー空っぽの食缶から。よく食べよく寝て健康的なお休みを。
写真中　体力テストから。夏休み中はたくさん遊んで体を動かしましょう。
写真右　のぞみ学級自立活動かき氷づくりから。夏休みはたくさん挑戦しましょう！

学校評価アンケート回答の最終日です。ご協力ありがとうございました。

本日、１学期最終日、ご協力の最終ご案内です。よろしくお願いします。　**回答はこちらから　⇒**

思いっきり遊ぶぞ！
ばりばり勉強するぞ！

毎月学習の一環でカレンダーをつくり、地域のみなさんに届けているのぞみ学級です。いつもありがとうございます。

帯広小の今日のきらきらさん

工作、何をしようかな？
自由研究、夏を楽しみ頑張るぞ！

明日からの夏休み。７月24日（木）～８月26日（火）の３４日間の家庭での生活に向けて、ポイントとなることを１０点挙げてみました。お子さんの夏休みの生活を親子でつくる手がかりにしていただければ幸いです。

１	早寝早起きを心がけましょう	全ての生活リズムはここから。お子さんの１日の生活に声かけを、ともに行動することを大切にしたいです。
２	毎日朝ご飯を食べましょう	朝からもりもり食べて、脳にエネルギーを与えましょう。
３	家族であいさつしましょう	人と人との心をつなぐかけはしです。家族だからこそ大切にしたいですね。
４	家族で会話を大切にしましょう	「あのね」から話せる喜び、聞いてもらえる喜びは心を豊かにします。愛されている実感がわきます。
５	手伝いを習慣にしましょう	家族の一員としての役割は責任と自立の心を育みます。「おかげで助かったよ」かけたい言葉です。
６	時間を決めましょう	勉強、読書、遊び等、バランスのよい学習と生活の計画を。早めに取り組んでみましょう。
７	メディアのルールを決めましょう	ゲーム依存による弊害は社会問題化し、携帯の所持率も上昇してきています。約束事を再確認したいですね。
８	色々な体験をしましょう	長期の休みだからできることをじっくりと。家族で取り組めることもたくさんありそうです。
９	子どもの姿をみつめましょう	子どもの心に寄り添って、子どもが出す心のサインをみのがさないようにしましょう。
		帰宅時刻は５時、交通安全や商店の出入り、自由に使える所持金等、確認しておきたいですね。
１０	安全安心に生活しましょう	交通事故をはじめ、水の事故には気を付けましょう。また、最近ではヒグマの市街地出没による被害が報道されています。帯広、十勝にも時々出没情報があることからも、野山に入るとき、薄暮時などご注意下さい。

伝統的に研究を重ねてきた道徳授業

10 年来、本校では道徳の授業研究を進めてきていますが、こうした中、７月７日（月）５年１組で山本教諭による、今年度初めての道徳の研究授業が行われました。授業には、十勝教育局熊崎主査、帯広市教委永井指導主事（本校元職員）の来校もあり、教職員による協議と共に、きめ細かい点でご指導もいただきました。

題材となる話は、平成２年、旧ソ連（ロシア）の大やけどを負ったコンスタンチン君（コースチャぼうや）が、日本での治療等により一命をとりとめ、当時大きく報道されたことです。これは普通であれば実現しなかった日本での治療が、多くの人々の心の動きや行動により、様々な規制を超えて命を救った出来事で、子供たちはタブレットを活用しながら、活発な協働的な学びにつながる情報共有により、互いに思いを交流していました。そこで新たな気づきと学び合いで理解を深め、自分を見つめ、自分の考えを広げ、生き方を考える学びが展開がみられ、参観した先生方の研修も深められました。引き続き大事にしていきたい本校の道徳授業の実践です。

ある日の２年生給食前水飲み場での光景。飲み終わった牛乳パックを洗って乾かす水切りかごをとても丁寧に洗っています。結構手間がかかる作業です（写真左下）。集めた牛乳パックはベルマークに組み入れますが、児童玄関前の傘立てはその還元された商品です。

帯広小の今日のきらきらさん

第47回全十勝小学生バドミントン大会
兼第44回北海道小学生バドミントン大会
５年生以下男子シングルス３位　５年１組渡部　海斗さん
この結果全道大会進出を決めたとのこと。期待しています。